

10/16 新人議員特別セミナーin 防府  
「議員の資質向上と議会運営の基本」

高沖講師

報告者：会派 輝 細田憲司

新人議員のためのセミナーであったので、基本的な市議会とは何か、市長との関係、市民との関係について学ぶところから始まった。

市議会は、市民の民意の反映を議会で上げる「議決機関」である。「議会と市長は車の両輪」とよく言われるが、その真意をよく考えなくてはならない。

また「憲法93条」にも「議事機関」として設置の旨が記載されていること、「地方自治法一第89条」にも「議事機関」として規程されている。議会は、住民の代表機関であり、議決機関とも言われるが、執行機関側の意見、合議制の住民代表機関であるから、多様な民意の反映が求められており、議会は、いかに「民意」を反映できるかが大きな課題である事をあらためて学んだ。次に、議会運営の基本として「二元代表制」について講義を受けた。議会は、首長の追認機関ではなく、首長とは立場や役割が異なる、これが二元代表制の意義である。二元代表制は、しっかり機能しなければならない。続いて、「政策提案の原点」では、全国の市議会の様々な工夫と取組を紹介された。東広島市議会では、一般質問で行われた議員個々の政策提言を決議につなげることにより、議会全体の政策提言に結びつける取組をしている。定例会終了後にアンケートを行い、政策提言につながる質問を選び、さらなる調査を行い議会運営会で取りまとめ、市長部局へ送付しているとの事であった。奥州市議会では、市政の課題の解決を図る為の政策を構想し、その実現に必要な仕組みに関する条例案を議会に提案する。もしくは必要と思われる政策を提言書としてまとめ、市長等に提案する、などガイドラインを設け、より積極的に政策実現にむけて取組んでいる他市の事例を聞き、非常に刺激になった。さらに「議会改革度」については、山口県議会改革度ランキング2024の紹介があり、下関市が全国103位、山陽小野田市が173位、長門市が226位で、他の議会は300位以下であり、本市議会は、もっと議会改革の意識を高める必要があると実感した。非常に具体的で学びのある講義であり、議員としてさらに実力を高め、周南市議会の議会力をも高める必要性を強く感じた学びの機会であってほしい。